



班も生まれてうれしい新春

中央支部長 川崎富子

数々の問題をはらみながらの2016年が始まりました。中央支部の新春のつどいを1月14日に開き、支部組合員17名、事業所より3名、組織部から1名の参加がありました。グリル壱乃蔵の美味しいランチをいただきながらとても友好的な会になりました。

大腸がん検診、戦争法廃止の署名などのお願いの後、

新しい班づくりの話になり、なんとその場で2つの新班が誕生しました。

内容についてはボチボチ考えていこう。ということでお決まりました。

みんなでワイワイ楽しく カモミール班

城北支部

カモミール班・班長 根岸

昨年10月1日にご近所の6

ください。

今後は、デイサービスすみれや看護小規模多機能

あなた得意なこと、自由になる時間を、困っている人のために活かしませんか？

★掃除★買い物★通院付添い★草取り・草刈り★剪定など

野菜づくりは初めてだといふ人が半分いたので、見様見真似で、いま玉ねぎを作っています。今年の夏には、神社から落ち葉をいただいて、腐葉土作りにも挑戦しています。その腐葉土をひまわりを畑いっぱい思い

夏には一度立ち寄つてみてください。もう一つは、ご近所の仲良しさんが3人で、班会をしてみたいので班をつくろう。



医療生協5課題のうちの「担い手ふやし」について、幸千支部では高齢化と病気などで運営委員や手配り者が年々減っていき、つながりも薄れる状態でした。

明るく楽しい支部にしたい。運営委員だけでは手が足りない。協力してくれる人を集めよう。①お便り作業②夏祭り③健康まつり④グラウンドゴルフなどそれにお手伝いを頼んで運営してきました。

生協強化月間は、つながり名簿をつくり一人々々の目標を持ってスタートしました。そして昨年からの仲間ふやしで多くなった手配りの部数を整理のために、前もって渡しておいた地図と名簿に印をつけて持ち寄り、手配りマップ作りに取り組みました。

支部の全体を把握することができ、つながりマップ



として「見える化」が進み、運営委員も改めて「マップづくり」の意義を理解しました。

11月に「手配り交流集会」をしてからは、手配りしてくれる人を増やすよう努めました。1ヶ月後には6人の方が快く引き受けくださり2月号からお願いすることになりました。

配る人が変わればその人間関係から新しく仲間が増えることにもつながると期待しています。担い手が増えることは支部の発展にもつながると思います。

これからは地域班ができる良いと思います。そしてあとは大腸がん検診者を増やそう！ガンバロー！

ことになりました。

配る人が変わればその人間関係から新しく仲間が増えることにもつながると期待しています。担い手が増えることは支部の発展にもつながると思います。

認知症を理解しよう シリーズ8

認知症を学び地域で支えるために連載しています

認知症には中核症状と行動・心理症状があり、中核症状の①記憶障害、②見当識障害、③理解・判断力、④実行機能障害をこれまで取り上げました。

今月は「④行動・心理症状とその支援」です。

・記憶障害などの中核症状がもとになり、本人の性格や素質、周囲の環境や人間関係などが影響して出現する症状を「行動・心理症状（BPSD）と呼びます。

症状 身の回りの動作に支障が出てきます

認知症が進行すると、入浴、更衣、排泄、食事など、基本的な生活動作に援助を必要とします。

○排泄の失敗を例に

排泄の失敗は、本人にとっても非常にショッキングな出来事です。失敗の原因は、いろいろあることを理解しておくことが必要です。

→まわりの対応次第で本人のプライドを傷つけずに済みます。

①トイレの場所が分からなくなります

場所の見当識障害、初めは夜間だけですが、その後、日中でもわからなくなります。

→トイレの場所を分かりやすく。風呂場、玄関のたたきなどトイレと間違えやすい場所のドアを隠す。夜間は廊下の明かりをつけておく、トイレの明かりをつけ、ドアを開け放しておくといった対応が考えられます。



②衣類の着脱に手間取って汚してしまいますが起こります

脳血管性認知症で運動障害がある場合、アルツハイマー型認知症で更衣がうまくできなくなっている場合など

→脱いだり着たりに時間がかかる衣服で、着なれているものにします。

③尿意、便意を感じにくくなります

→排尿、排便の周期を観察して定期的にトイレへ誘導することで対応できます。

※排泄の失敗には前立腺肥大や膀胱炎など、身体の病気が原因のこともあります。本人が痛みなどの身体の異常を感じにくくなることもあります。周囲の人はこの視点からも気にかける必要があります。

この原稿の出典は、「認知症サポーター要請講座標準教材」です。



平行棒による歩行訓練とペダル踏み。
転倒防止や、筋力、バランス能力、歩行能力などの保持・向上の効果があります。



城北診療所からのお知らせ

定期「往診」

★城北診療所では、定期往診を行っています。病院や診療所への定期的な通院が困難な方は、ぜひ一度ご相談ください。

★お住まいの地域によっては、ご要望に添うことができない場合もありますので、その際はあしからずご了承ください。まずはご相談くださることをお勧めします。



●お問い合わせは… 城北診療所へ
受付電話 (084) 923-8161

デイサービス すみれ お気軽にお寄りください

デイサービスとしての
新しい介護施設が次々
にできていく中で、少々
年季の入った建物にも
かかわらず頑張ってい
る「デイサービスすみれ」
を知ってほしいのです。

利用者さんとより密に
なると思うからです。
医療福祉生協としての
デイサービスとは何か?
それは、一人一人の利用
者さんにぴったりと寄り
添ってその方にあつた介
護サービスを提供すること
だと思います。

簡易トイレを使ってい
た方が、自分で歩いてト
イレに行けるようになつた。
とろみ食だった方に寄り
添つて、ひと匙ずつ口に
運ぶと固形食を食べられ
るようになつた。など日
常生活動作が改善してい
かれることがとても嬉しい
いし、日々の仕事の励み
ややりがいにもなつています。

新しい介護施設が次々
にできていく中で、少々
年季の入った建物にも
かかわらず頑張ってい
る「デイサービスすみれ」
を知ってほしいのです。
それは、一人一人の利用
者さんにぴったりと寄り
添つてその方にあつた介
護サービスを提供すること
だと思います。

利用者さんと一緒にする
ことによってよい効果が
出るリハビリだと信じて
います。しんどいですが、
デイサービスは楽かも知れ
ません。医療福祉生協の
デイサービスはそうでは
ないと考えて、利用者さ
んに動作の一つ一つを丁
寧に説明しながらやつて
います。しんどいですが、
利用者さんと一緒にする
ことによってよい効果が

あります。皆様、どうか一度デイ
サービスすみれを覗いて
みてください。そして、
楽しそうな笑顔の利用者
さんとともにひと時を過
ごしてみてください。

